

平成 30 年度 第 2 回中間貯蔵事業技術検討会 議事要旨

1. 日 時：平成 31 年 1 月 11 日（金） 10:00～12:00
2. 場 所：JESCO 本社 5 階 A 会議室
3. 出席委員：森田委員長、大迫委員、国包委員、吉岡委員
（オブザーバー） 環境省
4. 議 題：
 - （1）平成 30 年度技術的調査・検討業務等の進捗状況について
 - （2）報告事項について
 - （3）その他

議題

（1）平成 30 年度技術的調査・検討業務等の進捗状況について

平成 30 年度の技術的調査・検討業務について、受入・分別施設、土壌貯蔵施設に関する検討、減容化・再生利用等に関する技術的検討、中間貯蔵施設区域内の管理に関する技術的調査・検討への取り組み状況の説明のあと、議論が行われた。

主なコメント等は以下の通り。

- ・ 土壌貯蔵施設における散布材に係る室内試験では豊浦標準砂を使用するが、現地の土壌を使用した試験も実施した方が良いだろう。
- ・ 土壌貯蔵施設の浸出水の原水水質の分析・評価について、全体としてこの程度の水質で推移すれば問題はないが、今後も見守りが必要であり、放流先も含めてモニタリングを注意深くしてほしい。また、可能な範囲でモニタリング結果をオープンにしてほしい。
- ・ 技術実証フィールドの整備については、共用施設などフィールドの使用ルールが気になるが、事業者のやり易さに配慮したものにしてほしい。
- ・ 除去土壌の分級処理システム実証事業について、砂を削って細かくすると表面電荷が変化して再凝集することがありそうだが、細かくなり過ぎると分散させるテクニックが必要かもしれない。性状を精査してほしい。
- ・ 用地、道路、施設に関する GIS・管理台帳の整備について、利用者がほしい情報を解り易く提供してほしい。また、GIS の航空写真等については可能な限り最新版の写真データを使用のこ。 など

（2）報告事項について

土壌貯蔵施設等の整備・管理等に関する検討委員会の設置及び開催結果、受入・分別施設における改質材に係る検討、ETC による入退ゲート管理システムの整備・運用管理についての三点について報告があった。

以上